

# 地域医療構想推進シート

令和 4 年度

区域名

釧路

## 1 地域医療構想の実現に向けた取組の方向性

<p>(1) 医療機関の機能（診療科）や体制（救急医療体制等）が一部重複していることによる役割分担等に向けた取組</p>	<p>現状・課題</p> <p>[構想] ○ 第三次保健医療福祉圏域における高度専門医療の役割を担う地方センター病院の機能整備と充実を図り、後方で医療を支援する機能と医療連携の強化をしていくことで地域完結医療を維持していくことが必要。 ○ 紹介患者に対する医療提供、医療機器の共同利用などにより、かかりつけ医、かかりつけ歯科医等を支援する地域医療支援病院の機能の充実が必要。</p> <p>[意向調査等] ~ 役割分担が必要と回答 4 / 総回答 4 4 ○ 診療機能について、医療や看護の必要度に応じた医療機関ごとの役割分担は必要。 ○ 市の救急医療体制は公的 3 病院に依存しなければ維持が困難な状況、一次から三次救急までの棲み分けを行うとともに、医師会を中心とした救急医療体制の再構築が急務。</p>
	<p>目指す姿</p> <p>○ 病床機能の分化・連携に向けては、単なる病床数や機能の数合わせとならないよう留意しつつ、医療機関の自主的な取組や医療機関相互の協議を深めるとともに、地域医療介護総合確保基金等も活用しながら、現在の状況が地域医療構想における必要病床数に次第に収れんされるよう促し、各医療機関の連携のもと、バランスの取れた医療提供体制の構築を目指す。 ○ 初期救急医療体制について、引き続き、釧路市夜間急病センターを維持するとともに、在宅当番医制に診療所等の参加を更に促進し、二次及び三次救急医療機関との連携に努める。</p>
<p>(2) 急性期医療を受けた後の患者の受け皿となる医療機能（回復期病床）の確保に向けた取組</p>	<p>現状・課題</p> <p>[構想] ○ 2025年（R7）における回復期の必要病床数 7 6 9 床に対し、R4 意向調査では 4 5 6 床となっており、3 1 3 床の不足を生じている状況。 ○ 回復期病床の確保に向けては、①回復期の機能を担う病床に対する診療報酬上の評価が十分でない、②病床機能の転換に伴って新たに病棟が必要になることが多いリハビリテーション専門職の確保が困難、③回復期病床を担当することについて、医療従事者やその他の関係者の理解を得るのに時間がかかる等の課題がある。</p> <p>[意向調査等] ~ 回復期確保に向けた検討が必要と回答 9 / 総回答 4 4 ○ 各医療機関に不足感を抱いているか聞いたところ、あまり不足感はないとの回答であった。 ○ 市立釧路総合病院において、高度急性期 2 床、急性期 1 2 床を回復期（緩和ケア病棟）に転換。 ○ R4 意向調査を病床単位とした場合、回復期が約 2 0 床増加。</p>
	<p>目指す姿</p> <p>○ 病床機能報告では、病棟ごとに主な機能 1 つを選択して報告するため、回復期機能を担う病床が大幅に不足していると誤解させる事態が生じていると指摘されている。 こうしたことから、現在の状況が、単に病床機能報告の仕組みによるものなのか、実際に不足を生じているのかを検証するため、引き続き、病床単位での機能の把握に努めるほか、各医療機関がどの程度回復期機能を担うことができるか検討するとともに、リハビリテーション専門職の採用支援などを通じ、回復期病床の確保を図る。</p>
<p>(3) 限られた医療資源（病床や医療従事者等）を有効に活用するための医療機関の再編統合等に向けた取組</p>	<p>現状・課題</p> <p>[構想] ○ 釧路根室地域の医療施設をネットワークで結び診療情報を共有化する「メディネットたんちょう」の運用を開始しており、本システムを活用した参画医療機関等の拡大と連携の促進が必要。</p> <p>[意向調査等] ~ 再編・ネットワーク化に向けた協議が必要と回答 1 0 / 総回答 4 4 ○ 地域医療連携推進法人立ち上げの検討があるほか、医療機関間での役割分担・連携がみられる。 ○ 摩周厚生病院が公開型として参加するなど「メディネットたんちょう」の構成機関が拡大しているほか、ふたば診療所が、医療と介護の情報共有に向けたネットワークを構築。</p>
	<p>目指す姿</p> <p>○ 再編・ネットワーク化が必要な医療機能等を検証の上、施設・設備整備への支援を通じ、地域完結型の医療・介護体制を構築する。 ○ 切れ目なく円滑に患者の状態に応じた医療を提供するため、「メディネットたんちょう」の拡大と連携を促進しつつ、改善点や課題についても検証しながら、継続運用に向けた財政支援について検討する。 ○ また、在宅医療と介護の連携に向け、ICT を活用した情報共有とネットワーク化への支援を行う。</p>

<p>(4) 高齢化の進行に伴い、住み慣れた地域や自宅での生活を支えるため、その受け皿となる在宅医療等の確保に向けた取組</p>	<p>現状・課題</p> <p>〔構想〕 ○ 医療機関及び介護関係機関の連携体制について、多職種での取組は進められているものの、在宅療養支援病院・診療所は9ヶ所であり、各関係機関での在宅医療の取組及び地域包括ケアシステムの促進が望まれる。</p> <p>〔意向調査等〕 ~ 在宅医療の確保に向けた検討が必要と回答15／総回答44 ○ 在宅療養支援診療所・病院は10カ所そのまま現状維持。 ○ 「在宅医療・介護連携推進事業」に係る市町村連絡会議開催のほか、釧路市が作成した「つながり手帳」については、<b>厚岸町</b>、<b>標茶町</b>、<b>鶴居村</b>、<b>白糠町</b>に拡大。 ○ 高齢者施設における「看取りの実態調査」を実施し、急性期医療機関と介護保険関係者による「退院調整のルール化」を令和元年10月から試験運用。 ○ CCLによる「人生の最終段階における医療・介護のあり方」に関する研修開催。 ○ 釧路歯科医師会による「在宅歯科医療連携室」の運営</p>
	<p>目指す姿</p> <p>○ 平成30年度から介護保険制度において「在宅医療・介護連携推進事業」が義務化され、各市町村の取組が重要となることから、市町村における取組が円滑に行われるよう、保健所を中心とする協議会の活動を通じて支援する。 また、医師会や看護協会、CCLなど関係団体と協力しながら、在宅医療に関わる担い手の育成や住民への普及啓発に取り組みむほか、医師等を対象とする意見交換・勉強会や訪問診療の同行などを通じ、新たに在宅医療を担う医師を育成するとともに、代診等協力体制の確立及び後方病床確保に向けた取組に対する支援を通じ、在宅医療提供体制の充実を図る。</p>
<p>(5) 地域（市町村）における高齢者の住まいの確保等に向けた取組</p>	<p>現状・課題</p> <p>〔構想〕 ○ 遊休病床については、医療と介護の連携により有効活用が見込まれることから、介護施設への転換について更なる緩和措置が求められる。 ○ 地域での生活を継続できるように、自宅以外のその他の住まいの選択肢を増やすことが重要であり、「自宅に対応することは無理だから入院」ではなく、状態に合った支援が受けられる、病床と自宅以外の住まいを確保することが必要。</p> <p>〔意向調査等〕 ○ 各市町村において、介護医療院・グループホーム・サ高住・高齢者向け住宅などの整備計画がある。 ○ 住まいと併せ、交通インフラの整備にも配慮していく必要がある。</p>
	<p>目指す姿</p> <p>○ 管内はもとより、道内には、様々な住まいにおいて在宅医療や生活支援を受けつつ、地域での生活を継続している例があることから、引き続き周知を図るとともに、市町村の一層の関与を促進し、高齢者の住まいを確保する。</p>
<p>(6) 医療従事者等の確保に向けた取組</p>	<p>現状・課題</p> <p>〔構想〕 ○ 平成26年における釧路圏域の医師数は、人口10万人当たり170.4人と全道平均230.2人を大きく下回っているほか、医師の地域偏在は依然として大きな問題であり、地域で勤務する医師の職場環境の整備のほか、地域枠奨学金制度の活用や医育大学はじめ関係機関等との連携のもと、新たな専門医制度の活用などを通じ、地域医療を担う医師の確保定着を図ることが必要。 ○ 看護職員等についても、医療制度改革に伴う新たな需要や役割が求められることから、こうしたニーズに対応した就業者数の確保を図ることが必要。</p> <p>〔意向調査等〕 ○ 平成28年における釧路圏域の医師数（人口10万対）は166.4人（全道平均240.1人）と差が拡大している。 ○ 地域医療支援センターによる医師派遣1名、自治医科大学卒業医師の配置1名、地域枠医師の配置3名。 ○ 釧路協立病院が新専門医制度「総合診療」基幹病院となっているほか、中学校等職業体験受け入れ。 ○ 釧路労災病院と釧路赤十字病院の間で相互医師派遣による医療連携を実施している。 ○ 医師など人的医療資源が乏しく、地域としての医師などの人材確保が課題。 ○ 各市町村においても、修学資金の貸し付け、中高生を対象とした職場体験を実施。</p>
	<p>目指す姿</p> <p>○ 釧路地域で勤務する医師を確保するため、地域医療支援センター等への派遣要請の継続のほか、地域枠や新たな専門医制度を通じた、医師を地域に呼び込む取組に加え、地域センター病院の機能強化やNR連携といった医療機関相互の診療応援など地域内でも医師を確保する取組の充実を図る。 また、看護職の安定的な確保に向けては、資格取得等人材育成に対する支援が重要であることから、研修を受講する場合、基金を活用した代替職員の確保に加え、地方開催やeラーニングなど負担軽減の取組を通じ、医療の高度化に伴う看護技術の向上を図るとともに、リハビリ専門職などの他の従事者についても、地域医療介護総合確保基金等を活用し、各医療機能に応じて必要となる従事者の安定的な確保を図る。 ○ 令和2年度で策定となる外来医療計画における情報発信や、基金を活用した支援に加え、これまでの医師等医療従事者の確保対策を継続して取り組む。</p>

2 圏域内における医療機能及び他圏域との連携等の必要性

区 分		指 定 医 療 機 関 等 の 名 称	連 携 ・ 協 議 が 必 要 な 圏 域 名 (自圏域での対応が困難な疾病等)
5 疾 病	が ん	釧路労災病院、市立釧路総合病院	
	脳卒中	釧路労災病院、市立釧路総合病院、星が浦病院、孝仁会記念病院、標茶町立病院、摩周厚生病院、東北海道病院	
	心筋梗塞等の心血管疾患	市立釧路総合病院、孝仁会記念病院、三慈会病院	
	糖尿病	ふくしま医院、東北海道病院、市立釧路総合病院、柴田内科医院、みなみ病院、釧路北病院、うしき整形外科クリニック、釧路赤十字病院、釧路谷藤病院、釧路労災病院、杉元内科医院、釧路第一病院、堀口クリニック、野村内科クリニック、白樺台病院、釧路三慈会病院、新橋なかやクリニック、すどう内科クリニック、伊勢内科医院、釧路孝仁会記念病院、星が浦病院、ちば内科クリニック、釧路協立病院、阿寒湖畔診療所、音別診療所、とっとり内科クリニック、吉川メディカルクリニック、釧路こうわくクリニック、町立厚岸病院、浜中診療所、標茶町立病院、美里クリニック、摩周厚生病院、川湯の森病院、つるい養生色病院、森田医院	
	(眼科)	市立釧路総合病院、釧路赤十字病院、釧路労災病院、中村眼科医院、あゆち眼科クリニック	
	精神医療	釧路赤十字病院、市立釧路総合病院、釧路脳神経外科、優心病院、つるい養生色病院、清水桜ヶ丘病院、クリニック養生色	
5 事 業	救急医療	釧路市夜間急病センター、釧路労災病院、釧路赤十字病院、町立厚岸病院、市立釧路総合病院、釧路三慈会病院、釧路協立病院、星が浦病院、東北海道病院、標茶町立病院、孝仁会記念病院、摩周厚生病院	
	災害医療	市立釧路総合病院	
	周産期医療	釧路赤十字病院、市立釧路総合病院	
	へき地医療	市立釧路総合病院、星が浦病院、阿寒湖畔診療所、音別診療所、阿寒診療所、浜中診療所、鶴居診療所	
	小児医療（小児救急医療）	釧路赤十字病院、市立釧路総合病院	
在宅	在宅医療	太平洋記念みなみ病院、釧路協立病院、川湯の森病院、ふたば診療所、杉元内科医院、田中医院、吉川メディカルクリニック、やひろクリニック、弟子屈クリニック	
そ の 他	地方センター病院	市立釧路総合病院	
	地域センター病院	市立釧路総合病院	
	地域医療支援病院	釧路労災病院、市立釧路総合病院	
	特定機能病院		

### 3 将来的に不足することが見込まれる医療機能の確保対策等

#### (1) 病床の現況及び2025年の見込み【医療機能別】

※医療機関別の結果は別紙参照

必要病床数 (2025 (R7) 年推計)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等 (コロナ)※	休棟等 (コロナ以外)※	合計	区域内の現況、取組の方向性等
		355床	1,139床	769床	750床			3,013床	
参考 病床機能報告 意向調査 (許可病床)	H28. 7. 1	569床	1,628床	253床	1,031床		163床	3,644床	H28年数値については、病床機能報告確定値による。 R4及び2025年数値については、意向調査への回答数値を入力したもの。
	R4. 7. 1	399床	1,544床	429床	1,024床	60床	47床	3,503床	
	H28年比	▲ 170床	▲ 84床	176床	▲ 7床		▲ 116床	▲ 201床	
	2025	405床	1,519床	456床	1,004床		66床	3,450床	
必要病床数-2025		50床	380床	▲ 313床	254床		66床	437床	

#### (2-①) 不足することが見込まれる医療機能の把握等

不足することが見込まれる医療機能	病床機能報告以外に、将来的に不足する医療機能（患者数）を把握する方法等
回復期	意向調査において、病床機能報告の内容を病床単位とした場合の数値をうかがった際、20床増加し、また、2025年では27床の増加であったが、依然、不足を生じている。しかしながらR元年度調整会議において意見を聞いたところ、圏域における回復期病床の実際の不足感はあまりない状況から、病床単位での把握方法について、更なる協議を行うこととする。 なお、回復期病床のうち、回復期リハビリテーション病棟では待機者が生じている状況も見られている。

#### (2-②) 不足することが見込まれる医療機能の確保対策（令和5年度以降の計画も含む）

No.	医療機関名	予定時期	病床機能転換の内容	整備等の概要	
1	市立釧路総合病院	R4年度	高度急性期2床 回復期12床 → 回復期 14床	がん診療連携拠点病院としての機能充実を図るため、高度急性期及び急性期病床を緩和ケア病棟へ転換する	
			基金の活用		調整会議での説明
			なし		実施予定
2			急性期 床 → 回復期 床		
			基金の活用		調整会議での説明

#### (2-③) 不足することが見込まれる医療機能の確保に向けた取組目標及びスケジュール

医療機能	取組目標	スケジュール								
		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
回復期	実数把握の協議、地域として確保に向けた考え方の整理	→								
	急性期や慢性期における協議	→								

#### (3-①) 医療機関の再編統合等に向けた動き

区分	開始時期（予定）	構成医療機関	主な目的
病院、診療所との役割分担・連携	H12	医療法人社団美生会釧路第一病院	急性期病院からの患者受け入れ
	H15	JA北海道厚生連摩周厚生病院	専門医への患者紹介や町内診療所からの患者受入など
	H18	釧路労災病院、釧路赤十字病院	相互医師派遣による診療支援（N/R協議会）
	H19	中村眼科医院	釧路市有床診療所医療安全ネットワーク加盟
	H22	市立釧路総合病院	平成22年度から前方・後方連携に対応する体制をとり、平成25年度に医療連携相談室を設置。
	H29	釧路孝仁会記念病院	急性期から慢性期への連携（白樺台病院）
	時期不明	東北道病院	市立釧路総合病院との大腿骨頸部骨折のパス連携
地域医療連携推進法人			

(3-2) ICTを活用した地域医療情報連携ネットワークの整備状況（令和4年度以降の計画も含む）

No.	ネットワークの名称	整備年度	基金の活用	概要	登録団体・施設等
1	メディネットたんちよう	H25	あり	釧路根室地域の医療施設をネットワークで結び、診療情報を共有するシステム。	情報開示施設：12施設 (H31東北北海道病院、R5周厚生病院加盟) 参照施設：59施設（医療：26、 歯科：5、薬局：38、訪看：4）
2	釧路地域脳疾患救急画像ネットワーク	H5	なし	①365日24時間、脳卒中を中心とした、救急患者の画像分析、治療方針の連携。 ②画像撮影	釧路孝仁会記念病院、釧路協立病院、星が浦病院、釧路脳神経外科、新しくろクリニックほか根室圏域医療機関5施設
3	多職種連係情報共有システム	H29	あり	在宅療養支援における多職種（在宅医、訪問看護師、訪問薬剤師、訪問介護員、訪問リハビリ、ケアマネージャー等）の情報共有を行うシステム。	ふたば診療所、太平洋記念みなみ病院、大島歯科医院、おかだ歯科、釧路地域訪問看護ステーション、ヘルパーステーション、よかぜほか市内訪看、訪問介護、居宅支援、調剤薬局、歯科医院、医療機関

(3-3) 医療機関の再編統合等の取組目標及びスケジュール

取組目標	スケジュール								
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
再編・ネットワーク化が必要な病床機能の検討	→		→						
協議の中心となる医療機関の整理や既存のネットワークの検証	→								

(4) 非稼働病床への対応 《令和2年度中に対応方法を検討》

年次	病床機能報告制度		圏域における対応	
	非稼働病床数	前年比	検討内容	取組内容
H28	130床			
H29	120床	▲10床	アンケート結果：許可病床数の整理を予定(1件)、当面維持(3件)、未定(2件)	
H30	85床	▲35床	道としての対応方針や2017病床機能報告等を踏まえ対応方法を検討	調整会議で報告し情報の共有を図る
R1	120床	35床		
R2	119床	▲1床		意向調査で状況を確認し、情報を共有する
R3	113床	▲6床		意向調査で状況を確認し、情報を共有する
R4	107床	▲6床		意向調査で状況を確認し、情報を共有する

4 在宅医療等の確保対策

(1) 在宅医療等の必要量

区分		2018年(H30)	2019年(R1)	2020年(R2)	2021年(R3)	2022年(R4)	2023年(R5)	2024年(R6)	2025年(R7)
医療計画 (地域医療構想)	在宅医療等								3,061人
	訪問診療			1,007人			1,079人		1,127人
				110人			191人		267人
	計(a+b)			1,117人			1,270人		1,394人

(2) 訪問診療を実施している医療機関数

区分	H30(H28数値)	R1(H29数値)	R2(H30数値)	R3(R1数値)	R4(R2数値)	R5(R3数値)	R6(R4数値)	R7(R5数値)
施設数	33	26	28	31	27			
人口10万対	13.8	11.1	12.0	13.7	12.1			

※R1までは厚生労働省NDB（ナショナルデータベース）、R2以降はKDB（国保データベース）  
※人口は当該年度1月1日住民基本台帳による

(3) 在宅医療等の確保対策のスケジュール

確保対策	スケジュール								
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
「在宅医療・介護連携推進事業」に係る市町村の促進と支援	→	→	→	→	→	→	→	→	→
在宅医療を担う医師の拡大や後方病床確保に向けた支援		→	→	→	→	→	→	→	→
市町村・医療・介護関係者による在宅医療提供体制の強化に向けた検討（急性期との連携、施設看取り、広域連携など）		→	→	→	→	→	→	→	→

5 地域（市町村）における取組

(1) 医療と介護が連携した地域包括ケアシステムの構築に向けた基本的な考え方

市町村名	「在宅医療・介護連携推進事業」の実施内容等について
釧路市	医療と介護の連携の推進に向け、①医療・介護関係者の情報共有のためのツールである「釧路市つながり手帳」の更なる普及、②医療・介護関係機関とのネットワークの構築として釧路市地域ケア会議や多職種での研修会の開催、③在宅医療等に関する普及啓発として講演会の開催、④在宅医療・介護関係者の相談窓口として設置した「釧路市在宅医療・介護連携相談支援窓口」の更なる活用、⑤介護保険サービスの拡充を進める。
釧路町	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住みなれた地域でその人らしい暮らしを最後まで続けることができるよう、医療機関をはじめ、介護サービス事業者及び関係機関との連携により、在宅医療と介護サービスの一体的な提供を図る。 「在宅ケア手帳」を独自に整備し運用。地域包括支援センターに在宅医療・介護連携相談員を配置し、在宅医療と介護連携の相談を受けている。
厚岸町	平成30年度から実施する「在宅医療・介護連携推進事業」において、医療・介護従事者との連携を深めるため支援するとともに、町民への普及啓発や相談支援などの体制づくりを推進していく。
浜中町	地域包括ケアシステムの構築及び地域医療構想の推進を図るため、関係機関との連携を図りながら、在宅医療・介護連携推進事業を実施し、町民への相談支援や情報提供などを行い、在宅医療・介護サービスの提供体制を構築する。 独自に福祉用具の貸出しを行い、急な退院にも対応。 介護保険サービスを利用しない方へ地域包括支援センター職員により見守り訪問を実施。
標茶町	地域包括ケアシステムの構築及び地域医療構想の推進を図るため、平成28年度より在宅医療・介護連携推進事業の実施を図るとともに、令和元年度より医療・介護関係者の情報共有のツールとしての「つながり手帳」を導入、また、関係機関との連携を図りながら、町民に対する相談支援や医療・介護関係者による多職種連携に関する研修会を開催するなど、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を推進する。 平成30年8月からソーシャルワーカーを採用し、医療相談室を設置。退院調整等の集約化・効率化となった。
弟子屈町	医療と介護の連携した地域包括ケアシステムの構築及び推進を図るため、平成28年度より、在宅医療・介護連携推進事業を実施し、町の医療・福祉サービス事業との連携を図りながら、町民に対する相談支援や医療・介護関係者による「顔の見える」研修会を行い、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を推進する。 医療・介護関係者の情報共有のツールとして「情報連携記録シート」を活用。町独自の退院調整ルールを運用している。
鶴居村	地域包括ケアシステムの構築及び地域構想を推進するため、医療、介護老人保健施設を有する村内医療法人と連携しながら、在宅医療・介護連携推進事業の実施を図り、医療・介護関係者の情報共有のためのツールとして「つながり手帳」を導入（平成30年度より）し、在宅医療・介護サービスの提供体制を構築する。 「鶴居健康ホットライン」を開設し、医療介護等多様な相談に対応（電話で24時間365日）
白糠町	地域包括ケアシステムの構築及び地域医療構想の推進を図るため、平成28年度より在宅医療・介護連携推進事業の実施を通じて、白糠町三師会（医師・歯科医師・薬剤師）や保健所との連携を図りながら、町民に対する相談支援や医療・介護関係者による多職種連携に関する研修会を開催するとともに医療・介護関係者の情報共有のためのツールとして「つながり手帳」を導入（令和元年6月より）し、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を推進する。

(2) 高齢者の住まいの確保

市町村名	取 組 目 標		取組目標に対する達成状況
	年次	内 容	
釧路市	H 2 9	特別養護老人ホームの整備	計画通り80床の整備を実施（H30.10月開設）
	H 2 9	グループホームの整備	計画通り18人分の整備を実施
	R 1	グループホームの整備	計画通り18人分整備
	R 2	認知症高齢者グループホームの整備	1事業所18人分の整備を実施
	R 3	認知症高齢者グループホームの整備 特別養護老人ホームの整備	1事業所18人分の整備を実施 5床増床
	R 4	特別養護老人ホームの整備	1施設50床の新規整備、3床増床
釧路町	R 1	地域密着型特養の整備（予定定員29名）	開設はR2年度予定（介護人材不足から開設が困難な状況）
厚岸町	H 2 9	高齢者のニーズに応じた住まいの確保のため、公営住宅担当部局と連携	上階から1階への住替えやバリアフリー仕様住宅への入居等
	H 3 0 ~	高齢者のニーズに応じた住まいの確保のため、公営住宅担当部局と連携	
浜中町	H 3 0	町営住宅4戸を子育てや在宅介護に配慮したユニバーサルデザインによる建て替え	目標通り、4戸を整備（入居開始年度はH30年度）
	R 1	町営住宅4戸を子育てや在宅介護に配慮したユニバーサルデザインによる建て替え	目標通り、4戸を整備予定（入居開始年度はR元年度）
	R 3 ~ R 6	町営住宅32戸を子育てや在宅介護に配慮したユニバーサルデザインによる建て替え	
標茶町	H 3 0	介護医療院開設準備	
	R 1	介護医療院開設準備	介護医療院やケアハウスなどの設置も含め引き続き検討
弟子屈町	H 3 0	高齢者や障がい者に配慮したユニバーサルデザインによる公営住宅の建て替え（1棟4戸）	目標通り、1棟4戸を実施
	R 1 ~ R 6	高齢者や障がい者に配慮したユニバーサルデザインによる公営住宅の建て替え（10棟39戸）	
鶴居村	H 2 9	独居高齢者を対象とした福祉住宅1棟5戸を整備	目標通り、1棟5戸を整備
	適宜	独居高齢者の持ち家対策として、住宅政策全般の課題として取り組みを進める	
白糖町	H 2 9	高齢者のニーズに応じた住まいの確保のため、公営住宅担当部局と連携	3階から1階への住替えやバリアフリー仕様住宅への入居等
	H 3 0 ~	高齢者のニーズに応じた住まいの確保のため、公営住宅担当部局と連携	3階から1階への住替えやバリアフリー仕様住宅への入居等

(3) その他医療・介護従事者の確保等

市町村名	対象職種	取組内容	期待される効果等
釧路市	介護職	介護人材確保事業（採用経費補助・資格取得支援・ケアサポーター活用促進）※R4からの新規事業	介護従事者の確保・離職防止 〔実績〕 ・採用経費補助 R4：10人採用（うち外国人4人） ・資格取得支援 R4：57人資格取得済 ・ケアサポーター活用促進 R4：1人雇用
	医療従事者	就職説明会への参加、市内高校への修学資金のPR等（市立病院）	将来の医療従事者の確保
厚岸町	看護師・准看護師	修学資金の貸し付け（月額7万円上限、貸与期間以上を町内の医療機関に勤務した者は免除）	新卒看護職員就業確保
	看護師	中学生及び高校生を対象に職場体験学習	将来、看護師を目指す意欲の促進
浜中町	看護師等	修学資金の貸し付け（月額8万円、貸付期間分を町内の医療機関に勤務）	新卒看護職員の就業確保
	介護及び医療従事者	中学生及び高校生を対象に職場体験学習	将来の地域の介護・医療を担う従業者の確保
	介護従事者	介護初任者研修を町内で行い受講料を助成する。就業交付金・奨学金として独自助成措置	介護従事者の確保
標茶町	看護師	修学資金の貸付け（月額12,000円）	新卒看護職員の就業確保
	介護初任者研修修了者	研修費の助成	地域における有資格者の確保
	介護福祉士	研修費の助成	スキルアップによる就業先確保の支援体制の強化
弟子屈町	医師	修学資金貸付制度（上限10万円/月、貸付期間に1年加算した期間、町内医療機関に勤務）	医師の人材確保
	看護師・介護福祉士等	修学資金貸付制度（上限5万円/月、貸付期間に1年加算した期間、町内医療機関や介護事業所で勤務）	医療・介護従事に従事する有資格者の確保
	福祉施設従事者	介護職員初任者研修の実施	介護施設無資格従事者人材育成による良質なサービスの提供
鶴居村	保健師	奨学金（年額18万円。3年以上、村に勤務が条件）	新卒の保健師の就業確保
	看護師・准看護師	奨学金（年額18万円。3年以上、村に勤務が条件）	新卒の看護師・准看護師の就業確保
白糠町	保健師	修学資金貸付制度（月額4万円×12ヶ月、町に1年6ヶ月以上勤務）	新卒保健師の人材確保
	介護従事者	町内で介護初任者研修を実施することで、低額で受講できる。町内高校生は受講料を全額助成。	介護従事者の確保

## 6 地域住民への広報活動

実施日	広報の種類	実施地域等	実施内容	対象人数・部数
H29年度	リーフレット	釧路圏域	全道版のリーフレットを参考に釧路版作成の検討	
H30年度	〃	〃	引き続き精査の上、釧路版を作成し、関係機関に配布するなどして活用する。	
R1年度				

## 7 調整会議における協議等

### (1) 協議の状況

開催日	親会・部会の別	協議・報告事項	協議等の結果
R2.7.21	親会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療構想の取組状況と今後の取組方針について</li> <li>・地域の状況について</li> <li>・市立釧路総合病院の新棟建設計画について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の動き、道の取組等の説明</li> <li>・釧路管内の状況について説明</li> <li>・新棟建設計画の説明があり、了承された。</li> </ul>
R2.9.17 (書面開催)	親会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病床機能分化・連携促進基盤整備事業計画について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・反対意見なく、計画は承認された。</li> </ul>
R3.7.30 (書面開催)	親会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療構想説明会</li> <li>・病床機能再編支援事業費給付金に係る運用について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給付金については反対意見なく、計画は承認された。</li> </ul>
R3.9.1 (書面開催)	親会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病床機能分化・連携促進基盤整備事業計画について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・反対意見なく、計画は承認された。</li> </ul>

(2) 「公立病院経営強化プラン」の進捗状況

病 院 名	プランの概要（地域医療構想関係）	プランの進捗状況												
市立釧路総合病院	<p>① 当院の果たすべき役割 当院はこれまでも、二次医療圏の地域センター病院、三次医療圏の地方センター病院・救命救急センターとしての高度な急性期医療、公立病院として民間医療機関では提供が困難な不採算・特殊部門に関わる政策医療の提供に努め、地域医療の中核的役割を担ってきた。地域医療構想においても、これまでと同様の高度医療・急性期医療を中心とした地域の中核的な医療機関として役割を果たしていく。</p> <p>② 地域包括ケアシステム構築に向けて果たすべき役割 急性期医療機関として患者の急変時等に対応するため、在宅医療を担う関係施設等を後方支援する役割を果たしていく。</p> <p>③ 機能分化・連携強化 地域医療構想で求められている役割や機能を充実しつつ、将来の医療需要を見据えた適切な病床数を考慮し、地域に構築した医療ネットワーク「メディネットたんちよう」の更なる活用を図りながら地域の医療機関との連携強化に努める。</p> <p>(参考)</p> <table border="1" data-bbox="478 1030 973 1164"> <thead> <tr> <th colspan="2">現在（2022意向調査）</th> <th colspan="2">2025</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>機能</th> <th>種別</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般535</td> <td>高度急性期360 急性期175</td> <td>一般535</td> <td>高度急性期<sup>358</sup> 急性期163 回復期 14</td> </tr> </tbody> </table> <p>※上記のほか、精神50床・結核10床・感染症4床あり。</p>	現在（2022意向調査）		2025		種別	機能	種別	機能	一般535	高度急性期360 急性期175	一般535	高度急性期 <sup>358</sup> 急性期163 回復期 14	<p>平成29年2月に策定した『新公立病院改革プラン』における平成29年度の点検評価を実施した結果、医療機能等指標に係る数値については9項目中4項目、経営指標に係る数値については11項目中7項目の目標達成となった。</p> <p>この点検評価結果について、平成30年10月と11月に外部委員による評価委員会を開催し、『災害拠点病院の役割を担っていくこと』、『高度専門医療を行う地方センター病院としての計画的な人材育成と不足人員の確保に努め、地域医療の中心を担っていくこと』、『救急医療体制の維持に努めること』、『効率的な経営を目指していくこと』などのご意見を頂いたことから、今後も、地域医療の中核的な病院として、高度医療・救急医療等の当院に求められた役割を果たすとともに、増収対策や費用の削減に努め、安定的な経営基盤を確立し、引き続き目標達成に向けた取り組みを実施していく。</p> <p>②について（H31.1.24調整会議） この地域に合った医療介護体制の構築に向け、様々なレベルで関係機関との話し合いを重ねながら当院としてできることを取り組んでいく。</p> <p>R2.1.23調整会議 ・R2.4月より外来化学療法室の拡大 ・既存施設を改修し緩和ケア病棟の設置を検討</p> <p>R2.7.21調整会議 ・新棟建設計画について説明→了承された 高度急性期342・急性期108・回復期 21 一般計471床</p> <p>※上記のほか、精神50・結核10・感染症4</p>
現在（2022意向調査）		2025												
種別	機能	種別	機能											
一般535	高度急性期360 急性期175	一般535	高度急性期 <sup>358</sup> 急性期163 回復期 14											
町立厚岸病院	<p>① 当院の果たすべき役割 町内唯一の入院施設として現行の診療科（7科＋透析）・一般病床（55床）・24時間の救急医療体制を継続し、必要とされる高度・専門治療では市内総合病院との病病連携に努め、急性期から慢性期までの患者を広く受け入れる地域の基幹病院の役割を果たすとともに在宅復帰の支援を継続する。</p> <p>② 地域包括ケアシステム構築に向けて果たすべき役割 町の地域包括支援センターと連携しながら様々なサービスや資源を活用した支援体制の整備に参画するとともに、看護部に設置した「<b>地域連携室</b>」の取組を発展させて、病院併設の老健や訪問リハビリなど在宅での生活を支援する。</p> <p>③ 機能分化・連携強化 釧路圏域で進める病院の役割と広域的な連携体制の推進状況を踏まえ、厚岸地域での施設間の情報の共有化などネットワーク化を図りながら、限られた医師や資源の役割分担を進める体制構築に努める。</p> <p>(参考)</p> <table border="1" data-bbox="446 1792 949 1881"> <thead> <tr> <th colspan="2">現在（2022意向調査）</th> <th colspan="2">2025</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>機能</th> <th>種別</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般 55</td> <td>急性期 55</td> <td>一般 55</td> <td>急性期 55</td> </tr> </tbody> </table>	現在（2022意向調査）		2025		種別	機能	種別	機能	一般 55	急性期 55	一般 55	急性期 55	<p>前期改革プラン（H21年度から5カ年計画）をH23年度に見直し、病棟再編において医療療養病棟を医療機関併設型介護老人保健施設へ転換を図り、それまでの2病棟88床から1病棟55床へ33床を削減したところ。また、介護老人保健施設を23床を開設し、先駆けて病床の転換及び病床の廃止を行っている。</p> <p>これは新研修医制度などによる医局派遣医師の縮小や7対1看護制度の導入によるとされる看護師不足に対応した見直しで、新たな介護サービスの提供としても一定程度効果を上げ現在に至っている。</p> <p>令和4年3月に国から示され令和5年度までに公立病院経営強化プランの策定が義務づけられた。</p> <p>R2.1.23調整会議 ・急性期から慢性期までの患者に対応 ・病床数・病床機能については、患者の動向を見極めながら今後検討すべきと考える</p>
現在（2022意向調査）		2025												
種別	機能	種別	機能											
一般 55	急性期 55	一般 55	急性期 55											

病 院 名	プランの概要（地域医療構想関係）	プランの進捗状況												
標茶町立病院	<p>① 当院の果たすべき役割 町内唯一の病院として、現行の診療科（5科）・急性期病床・24時間体制の救急医療を継続。</p> <p>② 地域包括ケアシステム構築に向けて果たすべき役割 通院困難者への往診や在宅生活に支障が生じた場合の速やかな診療とともに、退院時における介護事業所・ケアマネジャーとの連携。 通所・訪問リハビリの継続。 認知症初期集中支援チームや地域ケア会議に参画。</p> <p>③ 機能分化・連携強化 将来の医療需要を見据えた適切な病床数を考慮し、圏域全体で地域医療のあり方を検討・協議することが重要。 診療情報共有のため、「メディネットたんちょう」に参加。</p> <p>④ 病床の削減と削減後の利用 現在の病床利用率は50%台であり、経営健全化の観点から利用率を70%とするためには50床程度とする必要があるが、75歳以上人口は増え続けることから、慎重な検討が必要。町内の特養（100床）で多くの待機者を抱えていることから、病床削減後は、特養のサテライト化を検討し、7期計画での整備を目指す、多方面の協議・調整が必要。</p> <p>（参考）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">現在（2022意向調査）</th> <th colspan="2">2025</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>機能</th> <th>種別</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般 60</td> <td>急性期 60</td> <td>一般 50</td> <td>急性期 50</td> </tr> </tbody> </table>	現在（2022意向調査）		2025		種別	機能	種別	機能	一般 60	急性期 60	一般 50	急性期 50	<p>④について（H31.1.24調整会議） 特養のサテライト化と併せ、介護医療院についても検討。</p> <p>R2.1.23調整会議 ・R2.3月より内科常勤医1名増 2名体制→3名体制</p>
現在（2022意向調査）		2025												
種別	機能	種別	機能											
一般 60	急性期 60	一般 50	急性期 50											

（3）「公的医療機関等2025プラン」の進捗状況

病 院 名	プランの概要	プランの進捗状況												
釧路労災病院	<p>① 地域において今後担うべき役割 道東地区唯一の地域医療支援病院として、地域の医療機関とさらなる連携強化を図る。 地域がん診療連携拠点病院として、緩和ケアを含めた総合的ながん治療への対応を目指すほか、がん検診等がんの予防・啓発や治療と就労の両立支援に努める。 釧路根室地域における救急医療体制の維持。</p> <p>② 今後持つべき病床機能 病床数は450床を維持していくが、急性期病床450床のうち50床を回復期病床（地域包括ケア病床）に転換。 また、急性期病床については重症度、医療・看護必要度に応じた上位施設基準（急性期一般入院料4→1）の取得を目指す。 緩和ケア病棟の設置を目指す。</p> <p>（参考）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">現在（2022意向調査）</th> <th colspan="2">2025</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>機能</th> <th>種別</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般433</td> <td>急性期350 回復期 83</td> <td>一般391</td> <td>高度急性期8 急性期300 回復期 83</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ その他 各病院の具体的取組、令和2年4月の診療報酬改定を踏まえ、病院の運営・経営・あり方について引き続き検討。</p>	現在（2022意向調査）		2025		種別	機能	種別	機能	一般433	急性期350 回復期 83	一般391	高度急性期8 急性期300 回復期 83	<p>がん診療連携拠点病院としての機能充実を図るため、緩和ケア病棟の設置を目指す。</p> <p>平成31年2月に急性期病床50床を回復期病床（地域包括ケア病床）に転換。</p> <p>R2.1.23調整会議 ・急性期病床400床のうち50床を緩和ケア病棟に転換予定（設置病床数未定）</p> <p>R3.9.1調整会議（書面開催） ・急性期病床400床のうち33床を回復期病床へ転換し、17床を減床 （病床機能分化・連携促進基盤整備事業）</p> <p>→2018病床機能報告において、平成31年2月から急性期400床、回復期50床として報告。</p> <p>医師確保について（R2.1.23調整会議） ・病理医1名確保 ・外科、整形、泌尿器科各1名増</p>
現在（2022意向調査）		2025												
種別	機能	種別	機能											
一般433	急性期350 回復期 83	一般391	高度急性期8 急性期300 回復期 83											

病 院 名	プランの概要	プランの進捗状況																
<p>釧路赤十字病院</p>	<p>① 地域において今後担うべき役割 総合周産期母子医療センターとして、体制の維持・整備に努め、さらなる医療水準の向上を目指す。関係機関との連携を深め、他の公立・公的医療機関とともに急性期機能を維持する。 地域包括ケア病棟のほか、訪問看護ステーション等も有することから、急性期・回復期・在宅医療等の繋がりの中で中心的な役割を担っていく。</p> <p>② 今後持つべき病床機能 高度急性期に位置づけている総合周産期母子医療センターを維持するとともに、急性期病床についても救急医療体制を維持する上で不可欠。地域包括ケア病棟への紹介も増加しており、ニーズがあることを示している。 今後の人口動態や疾病構造の変化などを踏まえ、引き続き当院の果たすべき医療機能を検討していく。</p> <p>(参考)</p> <table border="1" data-bbox="478 633 978 801"> <thead> <tr> <th colspan="2">現在 (2022意向調査)</th> <th colspan="2">2025</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>機能</th> <th>種別</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般431</td> <td>高度急性期9 急性期315 回復期54 休床53</td> <td>一般431</td> <td>高度急性期9 急性期362 回復期54 休床6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※上記のほか、精神58床あり</p> <p>③ その他 今後の医療環境の変化などを見据えた最適な病床規模の検討。</p>	現在 (2022意向調査)		2025		種別	機能	種別	機能	一般431	高度急性期9 急性期315 回復期54 休床53	一般431	高度急性期9 急性期362 回復期54 休床6	<p>R2.1.23調整会議 ・社会福祉法人(1カ所)と看護師の研修等について、研修体制をとってる。他の社会福祉法人との連携も検討。</p> <p>→2018病床機能報告において、高度急性期9床、急性期362床、回復期54床、休床等6床として報告済み。 2025年の予定についても同上の予定。</p>				
現在 (2022意向調査)		2025																
種別	機能	種別	機能															
一般431	高度急性期9 急性期315 回復期54 休床53	一般431	高度急性期9 急性期362 回復期54 休床6															
<p>摩周厚生病院</p>	<p>① 地域において今後担うべき役割 地域の急性期疾患を治療する病棟が必要であるとともに、当院及び釧路市などで急性期の治療を行った後の回復期～慢性期病棟も必要。</p> <p>② 今後持つべき病床機能 急性期・慢性期機能を維持、及び回復期への転換(急性期の一部から)を検討していく。現在保有している介護療養病床(20床)について、介護医療院への転換はマンパワーの不足から困難な状況にある。今後、廃止を含めた検討を行う。</p> <p>(参考)</p> <table border="1" data-bbox="478 1254 922 1444"> <thead> <tr> <th colspan="2">現在 (2022意向調査)</th> <th colspan="2">2025</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>機能</th> <th>種別</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般55</td> <td>急性期55</td> <td>一般55</td> <td>急性期55</td> </tr> <tr> <td>療養44</td> <td>慢性期44 (医療療養24、 介護療養20)</td> <td>療養24 その他 19</td> <td>慢性期24 その他19</td> </tr> </tbody> </table> <p>※介護療養(20床)から介護医療院(19床)へ移行</p> <p>③ その他 透析専門医・内科常勤医及び看護師の確保が困難な状況が続いており、今後もこの問題が解消する目途もない透析については、今後の状況により、規模の縮小等検討が必要。</p>	現在 (2022意向調査)		2025		種別	機能	種別	機能	一般55	急性期55	一般55	急性期55	療養44	慢性期44 (医療療養24、 介護療養20)	療養24 その他 19	慢性期24 その他19	<p>②について、一般病床の削減や地域包括ケア病床への転換を予定・検討している。</p> <p>R2.1.23調整会議 ・看護師、介護職員不足のため介護医療院への転換は困難。回復期、急性期を中心に検討。</p>
現在 (2022意向調査)		2025																
種別	機能	種別	機能															
一般55	急性期55	一般55	急性期55															
療養44	慢性期44 (医療療養24、 介護療養20)	療養24 その他 19	慢性期24 その他19															

(4) その他の医療機関の進捗状況

医療機関名	意向調査の概要等	進捗状況												
孝仁会記念病院	<p>① 地域において今後担うべき役割 救急患者の受入や手術など、高度・専門医療を中心とした急性期医療を担う。 脳神経外科における24時間対応の血栓回収術のほか、循環器内科・心臓血管外科など高度急性期・急性期病院として運営している。 また、高度検診センターを有し、予防活動も行っている。</p> <p>② 4機能ごとの病床のあり方</p> <table border="1" data-bbox="450 479 949 629"> <thead> <tr> <th colspan="2">現在 (2022意向調査)</th> <th colspan="2">2025</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>機能</th> <th>種別</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般235</td> <td>高度急性期24 急性期211</td> <td>一般235</td> <td>高度急性期24 急性期211</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 他の病院、診療所との役割分担・連携について 急性期から慢性期への連携。 メディネットたんちよう、釧根地域脳疾患救急画像ネットワークに参加。 釧根地域の医療機関から依頼を受け、CT・MRI等の画像診断を行っている。</p>	現在 (2022意向調査)		2025		種別	機能	種別	機能	一般235	高度急性期24 急性期211	一般235	高度急性期24 急性期211	<p>R2.1.23調整会議 ・ハイブリッド手術室の建設が進んでいる。 ・ICUの増床を予定し、 高度急性期 22床 → 24床 急性期 213床 → 211床 とする予定。</p>
現在 (2022意向調査)		2025												
種別	機能	種別	機能											
一般235	高度急性期24 急性期211	一般235	高度急性期24 急性期211											
東北北海道病院	<p>① 地域において今後担うべき役割 近隣の高度・専門医療を提供する医療機関と連携しつつ、急性期経過後のリハビリテーションや在宅復帰の役割を担うほか、入院機能においては院内外からのサブ・ポストアキュート機能の役割を担う。 内科医1名増員。内科外来を2名体制で行う。 骨粗しょう症外来を今後行う予定。</p> <p>② 4機能ごとの病床のあり方</p> <table border="1" data-bbox="450 1055 976 1205"> <thead> <tr> <th colspan="2">現在 (2022意向調査)</th> <th colspan="2">2025</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>機能</th> <th>種別</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般169</td> <td>急性期125 回復期44</td> <td>一般169</td> <td>急性期125 回復期44</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 他の病院、診療所との役割分担・連携について 大腿骨頸部骨折に関し、市立釧路総合病院とクリティカルバスで連携。 メディネットたんちように参加。</p>	現在 (2022意向調査)		2025		種別	機能	種別	機能	一般169	急性期125 回復期44	一般169	急性期125 回復期44	<p>R2.1.23調整会議 ・R1.6月より骨粗鬆症外来を行っている。 ・R1.11月から、外科系救急外来の要望が大きく、土曜日外来を再開したところ。</p> <p>R3.7.30調整会議（書面開催） ・急性期病床14床削減 （病床機能再編支援事業費給付金の運用）</p>
現在 (2022意向調査)		2025												
種別	機能	種別	機能											
一般169	急性期125 回復期44	一般169	急性期125 回復期44											
釧路協立病院	<p>① 地域において今後担うべき役割 近隣の高度・専門医療を提供する医療機関と連携しつつ、救急患者の初期対応や比較的軽微な患者に対する入院医療等の急性期医療をはじめ、急性期経過後のリハビリテーションから長期にわたる療養が必要な患者に対する入院医療、かかりつけ医としての役割や在宅復帰の役割を担うほか、入院機能においては院内だけでなく院外からのサブ・ポストアキュート機能の役割を担う。 訪看と連携しながら訪問診療、在宅看取りを進めるとともに、地域包括ケア病床の増床の可能性について今後検討。</p> <p>② 4機能ごとの病床のあり方</p> <table border="1" data-bbox="450 1776 976 1917"> <thead> <tr> <th colspan="2">現在 (2022意向調査)</th> <th colspan="2">2025</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>機能</th> <th>種別</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般135</td> <td>回復期95 休棟等40</td> <td>一般135</td> <td>回復期108 休棟等27</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 他の病院、診療所との役割分担・連携について メディネットたんちように参加。</p>	現在 (2022意向調査)		2025		種別	機能	種別	機能	一般135	回復期95 休棟等40	一般135	回復期108 休棟等27	<p>一般急性期の比重を少しずつ減少させ、地域包括ケア病床への転換を進めている。休床病床について今後再開の可否及び返上も含め、将来展望している病院リニューアルや医療機能に合わせ対応を進めていく。</p> <p>R2.1.23調整会議 ・R2.2月より外科診療を終了予定。 ・次年度より内科系総合診療医を3名増員し、内科の1次診療系で地域的な役割を果たしていきたい。 ・外科機能の縮小から二次救急の機能維持は難しく、外科・内科の一次救急を検討したい。</p> <p>地域包括ケア病床への転換を進めているところであり、R2.1月現在の運用は、地域包括70としている。</p> <p>R2.9.17調整会議（書面開催） ・急性期38床を回復期へ転換 （病床機能分化・連携促進基盤整備事業の活用）</p>
現在 (2022意向調査)		2025												
種別	機能	種別	機能											
一般135	回復期95 休棟等40	一般135	回復期108 休棟等27											

医療機関名	意向調査の概要等	進捗状況																
釧路三慈会病院	<p>① 地域において今後担うべき役割            近隣の高度・専門医療を提供する医療機関と連携しつつ、救急患者の初期対応や比較的軽微な患者に対する入院医療等の急性期医療を担う。            釧路地区における人口減少が見込まれる中、病院全体が「病院の在り方」・「診療科の見直し」等、課題を共有しながら協議している最中。            本院が一番力を入れている「地域密着型の病院」を保持しつつ、患者・他医療機関との連携を一番に考え、よりよい病院を目指す。            整形外科、循環器内科、麻酔科の3科で診療し、整形外科と循環器内科については救急医療に参加。</p> <p>② 4機能ごとの病床のあり方</p> <table border="1" data-bbox="451 524 976 658"> <thead> <tr> <th colspan="2">現在 (2022意向調査)</th> <th colspan="2">2025</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>機能</th> <th>種別</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般126</td> <td>高度急性期6 急性期79 回復期41</td> <td>一般126</td> <td>高度急性期6 急性期79 回復期41</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 他の病院、診療所との役割分担・連携について            メディネットたんちょうに参加。</p>	現在 (2022意向調査)		2025		種別	機能	種別	機能	一般126	高度急性期6 急性期79 回復期41	一般126	高度急性期6 急性期79 回復期41	<p>R2.1.23調整会議            ・サテライトクリニックに回復期病床を開設し、在宅復帰に向けた支援を行っていく予定。</p>				
現在 (2022意向調査)		2025																
種別	機能	種別	機能															
一般126	高度急性期6 急性期79 回復期41	一般126	高度急性期6 急性期79 回復期41															
星が浦病院	<p>① 地域において今後担うべき役割            近隣の高度・専門医療を提供する医療機関と連携しつつ、急性期経過後のリハビリテーションを担う。            脳卒中を中心とする回復期リハビリ病棟を有していることから、在宅復帰に向けた支援を行う。</p> <p>② 4機能ごとの病床のあり方</p> <table border="1" data-bbox="451 954 976 1059"> <thead> <tr> <th colspan="2">現在 (2022意向調査)</th> <th colspan="2">2025</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>機能</th> <th>種別</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般42</td> <td>急性期42</td> <td>一般42</td> <td>急性期42</td> </tr> <tr> <td>療養93</td> <td>回復期93</td> <td>療養93</td> <td>回復期93</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 他の病院、診療所との役割分担・連携            メディネットたんちょうに参加</p>	現在 (2022意向調査)		2025		種別	機能	種別	機能	一般42	急性期42	一般42	急性期42	療養93	回復期93	療養93	回復期93	
現在 (2022意向調査)		2025																
種別	機能	種別	機能															
一般42	急性期42	一般42	急性期42															
療養93	回復期93	療養93	回復期93															
釧路北病院	<p>① 地域において今後担うべき役割            長期にわたり療養が必要な患者に対する入院医療を担う。            脳血管疾患、神経難病等回復困難な患者を受け入れ、身体機能確保のためのリハビリテーションを実施している。寝たきりや疎通障害で重度の介護を要する患者に、持続的な治療を行う。</p> <p>② 4機能ごとの病床のあり方</p> <table border="1" data-bbox="451 1395 976 1478"> <thead> <tr> <th colspan="2">現在 (2022意向調査)</th> <th colspan="2">2025</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>機能</th> <th>種別</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>療養244</td> <td>慢性期244</td> <td>療養244</td> <td>慢性期244</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 他の病院、診療所との役割分担・連携について            メディネットたんちょうに参加</p>	現在 (2022意向調査)		2025		種別	機能	種別	機能	療養244	慢性期244	療養244	慢性期244	<p>R2.1.23調整会議            ・急性期を脱し、在宅では必要な医療の提供が難しい患者の医療にあたる。</p>				
現在 (2022意向調査)		2025																
種別	機能	種別	機能															
療養244	慢性期244	療養244	慢性期244															
釧路中央病院	<p>① 地域において今後担うべき役割            長期にわたり療養が必要な患者に対する入院医療を担い、適切なリハビリテーションを実施するとともに、可能な範囲でサブアキュート機能を提供する。            また、訪問診療・訪問リハビリも実施している。</p> <p>② 4機能ごとの病床のあり方</p> <table border="1" data-bbox="451 1803 976 1886"> <thead> <tr> <th colspan="2">現在 (2022意向調査)</th> <th colspan="2">2025</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>機能</th> <th>種別</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>療養147</td> <td>慢性期147</td> <td>療養147</td> <td>慢性期147</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 他の病院、診療所との役割分担・連携について            メディネットたんちょうに参加。</p>	現在 (2022意向調査)		2025		種別	機能	種別	機能	療養147	慢性期147	療養147	慢性期147	<p>R2.1.23調整会議            ・医療ニーズの高い患者の紹介に対応できるよう、人工呼吸器の使用者や長期入院透析ができる人工透析室を整備、入院10床、外来6床への透析が可能となった。            ・高齢者が入居する施設への訪問診療を行っているところ。</p> <p>② 令和元年度新棟建築済み</p>				
現在 (2022意向調査)		2025																
種別	機能	種別	機能															
療養147	慢性期147	療養147	慢性期147															

医療機関名	意向調査の概要等	進捗状況																
白樺台病院	<p>① 地域において今後担うべき役割 長期にわたり療養が必要な患者に対する入院医療を担う。</p> <p>② 4機能ごとの病床のあり方</p> <table border="1" data-bbox="451 311 976 396"> <thead> <tr> <th colspan="2">現在 (2022意向調査)</th> <th colspan="2">2025</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>機能</th> <th>種別</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>療養108</td> <td>慢性期108</td> <td>療養108</td> <td>慢性期108</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 他の病院、診療所との役割分担・連携について メディネットたんちょうに参加</p>	現在 (2022意向調査)		2025		種別	機能	種別	機能	療養108	慢性期108	療養108	慢性期108					
現在 (2022意向調査)		2025																
種別	機能	種別	機能															
療養108	慢性期108	療養108	慢性期108															
川湯の森病院	<p>① 地域において今後担うべき役割 長期にわたり療養が必要な患者に対する入院医療を担う。</p> <p>② 4機能ごとの病床のあり方</p> <table border="1" data-bbox="451 631 976 716"> <thead> <tr> <th colspan="2">現在 (2022意向調査)</th> <th colspan="2">2025</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>機能</th> <th>種別</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>療養100</td> <td>慢性期100</td> <td>療養100</td> <td>慢性期100</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 他の病院、診療所との役割分担・連携について</p>	現在 (2022意向調査)		2025		種別	機能	種別	機能	療養100	慢性期100	療養100	慢性期100					
現在 (2022意向調査)		2025																
種別	機能	種別	機能															
療養100	慢性期100	療養100	慢性期100															
釧中央脳神経外科病院	<p>① 地域において今後担うべき役割 長期にわたり療養が必要な患者に対する入院医療を担う。 現在、慢性期病棟中心だが、今後、回復期、地域包括病棟なども検討</p> <p>② 4機能ごとの病床のあり方</p> <table border="1" data-bbox="451 976 976 1090"> <thead> <tr> <th colspan="2">現在 (2022意向調査)</th> <th colspan="2">2025</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>機能</th> <th>種別</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般50</td> <td>慢性期50</td> <td>一般50</td> <td>慢性期50</td> </tr> <tr> <td>療養44</td> <td>慢性期44</td> <td>療養44</td> <td>慢性期44</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 他の病院、診療所との役割分担・連携について</p>	現在 (2022意向調査)		2025		種別	機能	種別	機能	一般50	慢性期50	一般50	慢性期50	療養44	慢性期44	療養44	慢性期44	
現在 (2022意向調査)		2025																
種別	機能	種別	機能															
一般50	慢性期50	一般50	慢性期50															
療養44	慢性期44	療養44	慢性期44															
釧路第一病院	<p>① 地域において今後担うべき役割 長期にわたり療養が必要な患者に対する入院医療を担う。 急性期病院における治療を終え、その後長期にわたり療養が必要な患者に対する入院医療を担う。</p> <p>② 4機能ごとの病床のあり方</p> <table border="1" data-bbox="451 1344 976 1429"> <thead> <tr> <th colspan="2">現在 (2022意向調査)</th> <th colspan="2">2025</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>機能</th> <th>種別</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>療養82</td> <td>慢性期82</td> <td>療養82</td> <td>慢性期82</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 他の病院、診療所との役割分担・連携について 急性期病院からの患者の受入れ</p>	現在 (2022意向調査)		2025		種別	機能	種別	機能	療養82	慢性期82	療養82	慢性期82					
現在 (2022意向調査)		2025																
種別	機能	種別	機能															
療養82	慢性期82	療養82	慢性期82															
みなみ病院	<p>① 地域において今後担うべき役割 長期にわたり療養が必要な患者に対する入院医療を担う。 近隣の医療機関、介護施設等と連携し、慢性期の患者に対して入院医療等を担う。</p> <p>② 4機能ごとの病床のあり方</p> <table border="1" data-bbox="451 1727 976 1841"> <thead> <tr> <th colspan="2">現在 (2022意向調査)</th> <th colspan="2">2025</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>機能</th> <th>種別</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般54</td> <td>慢性期54</td> <td>一般54</td> <td>慢性期54</td> </tr> <tr> <td>療養26</td> <td>慢性期26</td> <td>療養26</td> <td>慢性期26</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 他の病院、診療所との役割分担・連携について メディネットたんちょうに参加</p>	現在 (2022意向調査)		2025		種別	機能	種別	機能	一般54	慢性期54	一般54	慢性期54	療養26	慢性期26	療養26	慢性期26	
現在 (2022意向調査)		2025																
種別	機能	種別	機能															
一般54	慢性期54	一般54	慢性期54															
療養26	慢性期26	療養26	慢性期26															

医療機関名	意向調査の概要等	進捗状況												
釧路谷藤病院	<p>① 地域において今後担うべき役割 長期にわたり療養が必要な患者に対する入院医療を担う。</p> <p>② 4機能ごとの病床のあり方</p> <table border="1" data-bbox="451 320 978 409"> <thead> <tr> <th colspan="2">現在 (2022意向調査)</th> <th colspan="2">2025</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>機能</th> <th>種別</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般42</td> <td>慢性期42</td> <td>一般42</td> <td>慢性期42</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 他の病院、診療所との役割分担・連携について</p>	現在 (2022意向調査)		2025		種別	機能	種別	機能	一般42	慢性期42	一般42	慢性期42	
現在 (2022意向調査)		2025												
種別	機能	種別	機能											
一般42	慢性期42	一般42	慢性期42											
つるい養生邑病院	<p>① 地域において今後担うべき役割 長期にわたり療養が必要な患者に対する入院医療を担う。 地域自治体との連携を更に深めつつ、精神疾患、認知症等に対する医療を柱として診療継続を行う。</p> <p>② 4機能ごとの病床のあり方</p> <table border="1" data-bbox="451 658 978 748"> <thead> <tr> <th colspan="2">現在 (2022意向調査)</th> <th colspan="2">2025</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>機能</th> <th>種別</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>療養26</td> <td>慢性期26</td> <td>療養26</td> <td>慢性期26</td> </tr> </tbody> </table> <p>※上記のほか、精神108床あり。</p> <p>③ 他の病院、診療所との役割分担・連携について</p>	現在 (2022意向調査)		2025		種別	機能	種別	機能	療養26	慢性期26	療養26	慢性期26	
現在 (2022意向調査)		2025												
種別	機能	種別	機能											
療養26	慢性期26	療養26	慢性期26											
カケハシ眼科内科	<p>① 地域において今後担うべき役割 近隣の高度・専門医療を提供する医療機関と連携しつつ、急性期経過後のリハビリテーションを担う。</p> <p>② 4機能ごとの病床のあり方</p> <table border="1" data-bbox="451 972 978 1061"> <thead> <tr> <th colspan="2">現在 (2022意向調査)</th> <th colspan="2">2025</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>機能</th> <th>種別</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般19</td> <td>急性期19</td> <td>一般19</td> <td>急性期19</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 他の病院、診療所との役割分担・連携について</p>	現在 (2022意向調査)		2025		種別	機能	種別	機能	一般19	急性期19	一般19	急性期19	2名の医師の高齢化に伴い、入院患者の受入れがいつまで可能か、2026年度以降は不明。
現在 (2022意向調査)		2025												
種別	機能	種別	機能											
一般19	急性期19	一般19	急性期19											
足立産婦人科クリニック	<p>① 地域において今後担うべき役割</p> <p>② 4機能ごとの病床のあり方</p> <table border="1" data-bbox="451 1211 978 1301"> <thead> <tr> <th colspan="2">現在 (2022意向調査)</th> <th colspan="2">2025</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>機能</th> <th>種別</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般4</td> <td>休床4</td> <td>一般4</td> <td>休床4</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 他の病院、診療所との役割分担・連携について</p>	現在 (2022意向調査)		2025		種別	機能	種別	機能	一般4	休床4	一般4	休床4	
現在 (2022意向調査)		2025												
種別	機能	種別	機能											
一般4	休床4	一般4	休床4											
新橋肛門科クリニック	<p>① 地域において今後担うべき役割 近隣の高度・専門医療を提供する医療機関と連携しつつ、救急患者の初期対応や比較的症状が軽い患者に対する入院医療等の急性期医療を担う。</p> <p>② 4機能ごとの病床のあり方</p> <table border="1" data-bbox="451 1536 978 1626"> <thead> <tr> <th colspan="2">現在 (2022意向調査)</th> <th colspan="2">2025</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>機能</th> <th>種別</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般19</td> <td>急性期19</td> <td>一般19</td> <td>急性期19</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 他の病院、診療所との役割分担・連携について</p>	現在 (2022意向調査)		2025		種別	機能	種別	機能	一般19	急性期19	一般19	急性期19	
現在 (2022意向調査)		2025												
種別	機能	種別	機能											
一般19	急性期19	一般19	急性期19											

医療機関名	意向調査の概要等	進捗状況																
音別診療所	<p>① 地域において今後担うべき役割 かかりつけ医としての役割や在宅医療における中心的な役割を担う。</p> <p>② 4機能ごとの病床のあり方</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">現在 (2022意向調査)</th> <th colspan="2">2025</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>機能</th> <th>種別</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般9</td> <td>慢性期9</td> <td>一般9</td> <td>慢性期9</td> </tr> <tr> <td>療養10</td> <td>慢性期10</td> <td>療養10</td> <td>慢性期10</td> </tr> </tbody> </table> <p>※慢性期19床のうち、4床非稼働。</p> <p>③ 他の病院、診療所との役割分担・連携について メディネットたんちょうに参加。</p>	現在 (2022意向調査)		2025		種別	機能	種別	機能	一般9	慢性期9	一般9	慢性期9	療養10	慢性期10	療養10	慢性期10	R2.1.23調整会議 ・H29に「音別診療所のあり方検討会議」において病床維持が提言されている。
現在 (2022意向調査)		2025																
種別	機能	種別	機能															
一般9	慢性期9	一般9	慢性期9															
療養10	慢性期10	療養10	慢性期10															
くしろレディースクリニック	<p>① 地域において今後担うべき役割 かかりつけ医としての役割や在宅医療における中心的な役割を担う。 産婦人科として入院の必要のない治療を行い、主に市立と日赤と連携して地域医療を担いたい。</p> <p>② 4機能ごとの病床のあり方</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">現在 (2022意向調査)</th> <th colspan="2">2025</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>機能</th> <th>種別</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般1</td> <td>急性期1</td> <td>一般1</td> <td>急性期1</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 他の病院、診療所との役割分担・連携について</p>	現在 (2022意向調査)		2025		種別	機能	種別	機能	一般1	急性期1	一般1	急性期1					
現在 (2022意向調査)		2025																
種別	機能	種別	機能															
一般1	急性期1	一般1	急性期1															
阿寒診療所	<p>① 地域において今後担うべき役割 長期にわたり療養が必要な患者に対する入院医療を担う。</p> <p>② 4機能ごとの病床のあり方</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">現在 (2022意向調査)</th> <th colspan="2">2025</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>機能</th> <th>種別</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般15</td> <td>慢性期15</td> <td>一般15</td> <td>慢性期15</td> </tr> <tr> <td>療養4</td> <td>慢性期4</td> <td>療養4</td> <td>慢性期4</td> </tr> </tbody> </table> <p>※慢性期19床のうち、4床非稼働。</p> <p>③ 他の病院、診療所との役割分担・連携について メディネットたんちょうに参加。</p>	現在 (2022意向調査)		2025		種別	機能	種別	機能	一般15	慢性期15	一般15	慢性期15	療養4	慢性期4	療養4	慢性期4	
現在 (2022意向調査)		2025																
種別	機能	種別	機能															
一般15	慢性期15	一般15	慢性期15															
療養4	慢性期4	療養4	慢性期4															
浜中診療所	<p>① 地域において今後担うべき役割 かかりつけ医としての役割や在宅医療における中心的な役割を担う。</p> <p>② 4機能ごとの病床のあり方</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">現在 (2022意向調査)</th> <th colspan="2">2025</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>機能</th> <th>種別</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般19</td> <td>慢性期19</td> <td>一般19</td> <td>慢性期19</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R4.2月病床種別変更：療養6一般13→一般19</p> <p>③ 他の病院、診療所との役割分担・連携について</p>	現在 (2022意向調査)		2025		種別	機能	種別	機能	一般19	慢性期19	一般19	慢性期19	R2.1.23調整会議 ・月2回東北海道病院から整形外科医の派遣を受けている。地域におけるかかりつけ医として維持していきたい。				
現在 (2022意向調査)		2025																
種別	機能	種別	機能															
一般19	慢性期19	一般19	慢性期19															
中村眼科医院	<p>① 地域において今後担うべき役割 近隣の高度・専門医療を提供する医療機関と連携しつつ、救急患者の初期対応や比較的症状が軽い患者に対する入院医療等の急性期医療を担う。</p> <p>② 4機能ごとの病床のあり方</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">現在 (2022意向調査)</th> <th colspan="2">2025</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>機能</th> <th>種別</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般19</td> <td>急性期19</td> <td>一般19</td> <td>急性期19</td> </tr> </tbody> </table> <p>※急性期19床のうち7床非稼働。</p> <p>③ 他の病院、診療所との役割分担・連携について 釧路市有床診療所医療安全ネットワーク加盟。</p>	現在 (2022意向調査)		2025		種別	機能	種別	機能	一般19	急性期19	一般19	急性期19					
現在 (2022意向調査)		2025																
種別	機能	種別	機能															
一般19	急性期19	一般19	急性期19															

医療機関名	意向調査の概要等	進捗状況												
足立泌尿器科クリニック	<p>① 地域において今後担うべき役割 近隣の高度・専門医療を提供する医療機関と連携しつつ、救急患者の初期対応や比較的症状が軽い患者に対する入院医療等の急性期医療を担う。 慢性腎臓病の重症化予防と腎不全患者の透析治療。</p> <p>② 4機能ごとの病床のあり方</p> <table border="1" data-bbox="448 376 978 461"> <thead> <tr> <th colspan="2">現在 (2022意向調査)</th> <th colspan="2">2025</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>機能</th> <th>種別</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般19</td> <td>急性期19</td> <td>一般19</td> <td>急性期19</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 他の病院、診療所との役割分担・連携について 釧路市有床診療所医療安全ネットワーク加盟。</p>	現在 (2022意向調査)		2025		種別	機能	種別	機能	一般19	急性期19	一般19	急性期19	<p>R2.1.23調整会議 ・看護師不足で病床はあまり稼働していない。 ・市内急性期病院の泌尿器科が紹介制となったことで、患者が増えている。手術が必要な患者を急性期に紹介している。</p>
現在 (2022意向調査)		2025												
種別	機能	種別	機能											
一般19	急性期19	一般19	急性期19											
まき内科胃腸科医院	<p>① 地域において今後担うべき役割</p> <p>② 4機能ごとの病床のあり方</p> <table border="1" data-bbox="448 651 978 736"> <thead> <tr> <th colspan="2">現在 (2018意向調査)</th> <th colspan="2">2025</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>機能</th> <th>種別</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般</td> <td>休床19</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 他の病院、診療所との役割分担・連携について</p>	現在 (2018意向調査)		2025		種別	機能	種別	機能	一般	休床19			<p>R2.9 廃止</p>
現在 (2018意向調査)		2025												
種別	機能	種別	機能											
一般	休床19													
林田クリニック	<p>① 地域において今後担うべき役割 かかりつけ医としての役割や在宅医療における中心的な役割を担う。 慢性腎臓病、心疾患患者の重症化予防、腎不全患者の透析治療。</p> <p>② 4機能ごとの病床のあり方</p> <table border="1" data-bbox="448 1016 978 1102"> <thead> <tr> <th colspan="2">現在 (2022意向調査)</th> <th colspan="2">2025</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>機能</th> <th>種別</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般10</td> <td>休床10</td> <td>一般10</td> <td>休床10</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 他の病院、診療所との役割分担・連携について</p>	現在 (2022意向調査)		2025		種別	機能	種別	機能	一般10	休床10	一般10	休床10	
現在 (2022意向調査)		2025												
種別	機能	種別	機能											
一般10	休床10	一般10	休床10											
西池彰記念クリニック	<p>① 地域において今後担うべき役割 急性期医療の後方支援として、回復期病床を担い在宅復帰に向けた医療を提供する。</p> <p>② 4機能ごとの病床のあり方</p> <table border="1" data-bbox="448 1323 978 1408"> <thead> <tr> <th colspan="2">現在 (2022意向調査)</th> <th colspan="2">2025</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>機能</th> <th>種別</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般19</td> <td>回復期19</td> <td>一般19</td> <td>回復期19</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 他の病院、診療所との役割分担・連携について</p>	現在 (2022意向調査)		2025		種別	機能	種別	機能	一般19	回復期19	一般19	回復期19	<p>R2.9 病床設置</p>
現在 (2022意向調査)		2025												
種別	機能	種別	機能											
一般19	回復期19	一般19	回復期19											

(5) 二次医療圏を越えた広域的な協議

開催日	協議の相手方	協議事項	協議の結果

(6) 圏域内のすべての医療機関（病院及び有床診療所）の参画又は情報共有に係る取組

区 分	対 応 内 容
調整会議（親会・部会）に参加	令和2年1月23日 全ての病院・有床診療所を対象として拡大版の調整会議を開催し、意見交換会を開催。
説明会の開催（情報共有）	令和3年7月30日に「地域医療構想説明会」を開催（書面開催）。
その他	

(7) 病床機能報告制度に係る取組

区 分	目 的 等	調整会議への報告、議論の状況
未報告医療機関の解消	医療法に基づく報告義務に関する周知	R2～4報告：未報告医療機関に対する報告依頼実施。 未報告なし。
病棟の医療機能（病床機能報告の報告内容）の取れん	病棟の医療機能が毎年変化する事のないよう周知	各医療機関の病棟の機能を共有。
2025年に向けて、過剰な医療機能に転換を予定する医療機関への対応	構想の推進に支障のある病床転換を行わないよう周知	

(8) 地域で不足する外来医療機能の確保に係る取組

地域で不足する外来医療機能	現状・課題	取組状況
初期救急医療の確保	<p>(現状)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>管内における救急搬送人員は、平成24年の11,235人から徐々に減少し、平成27年は10,860人となりましたが、平成28年から増加に転じ、令和元年は12,192人となっています。</li> <li>管内の初期救急医療は、在宅当番医制（釧路市医師会）や釧路市夜間急病センター、あるいは自治体病院・診療所や公的病院のほか、民間の医療機関により体制を確保しています。</li> </ul> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>休日・夜間における医療の提供については、釧路市、釧路町で在宅当番医制や釧路市夜間急病センターによる体制が確保されていますが、全ての自治体でこうした体制を整備することは難しく、標茶町や厚岸町では、初期救急を二次救急医療機関が担っている状況にあるほか、開業医の高齢化が進み、在宅当番医制の継続が困難になりつつあります。</li> <li>住民の病院・専門医志向などを背景に、軽症者が夜間・休日に救急医療機関を受診する、いわゆる救急医療の「コンビニ化」と呼ばれる問題もあり、二次救急病院勤務医への負担が増大しています。</li> </ul> <p>このため、初期救急医療と二次救急医療の役割分担と連携強化が求められているほか、救急車の適正な利用を図るため、住民に対して一層の啓発が必要となっています。</p>	<p>取組の方向性（地域の方針）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>休日・夜間における医療の提供について、引き続き、釧路市夜間急病センターを維持するほか、在宅当番医制の運営について、診療所等の参加を更に促進するとともに、インフルエンザ等の感染症の流行等にも適切に対応できるように、釧路市医師会や二次及び三次救急医療機関との連携に努めます。</li> <li>また、町立病院が初期救急医療と二次救急医療を担う標茶町や厚岸町の状況を踏まえ、医療機能の明確化と役割分担の適正化に向け、医療機関、消防等関係機関の連携を一層推進します。</li> <li>救急医療体制の仕組みや管内の現状を理解し、適正に医療機関や救急車を利用してもらうための普及啓発に努めます。</li> </ul>
在宅医療の確保	<p>(現状)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内閣府「高齢者の健康に関する意識調査（H24）」では、約6割の人が自宅等（自宅・老人ホーム）で最期を迎えることを希望している一方で、管内の自宅等における死亡割合は13.9%と、全道平均13.0%を上回っているものの全国平均20.7%を下回っています。（H29人口動態調査）</li> <li>また、訪問診療を実施する施設数は28か所（診療所16、病院11）ありますが、人口10万人当たりの施設数は、12.1（診療所7.2、病院4.9）と全道15.0を下回っており、診療所での実施が少ない状況にあります。（R2KDBデータ）</li> </ul> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2025年における管内の訪問診療の需要は1,394人/日と推計されており、2013年の854人/日と比べ約1.6倍増加すると見込まれていることから、在宅医療を提供できる医療機関の充実が求められています。</li> <li>退院から日常の療養支援、急変時の対応、看取りまで切れ目のない継続した医療・介護を提供できるよう、医療・介護関係者や市町村の緊密な連携が必要です。</li> <li>また、住民に対し、医療・介護に関する窓口やサービス内容に関する情報提供と普及啓発が必要です。</li> </ul>	<p>取組の方向性（地域の方針）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在宅でできる治療範囲や患者・家族とのコミュニケーションなど在宅医療のイメージがつかみにくいという声や、往診対応などの負担感から参入をためらうという意見も少なくないことから、こうした医師等を対象とする意見交換・勉強会や、訪問診療に同行する取組などを通じ、在宅医療を実施する医師の拡大を図ります。</li> <li>医師会や看護協会、CCLなど関係団体と協力しながら、在宅医療に関わる担い手の育成や住民への普及啓発に取り組むほか、患者の意向を尊重した円滑な退院支援、「釧路市つながり手帳」やICTによる情報共有、急変時の後方病床の確保などの取組を通じ、多職種連携の強化を図ります。</li> </ul>
精神科医療の確保	<p>(現状)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>管内における統合失調症やうつ病などの精神障がい者数は令和2年3月現在6,792人であり、平成28年と比べ1,082人の増加となっています。</li> <li>一方、精神科を標ぼうする診療所は3か所病院は7か所ですが、平成28年の国の調査において、精神科を主たる診療科とする医師数を人口10万人当たりでみると、全道平均を下回っており、これ以降も常勤医師が減少しています。（医師・歯科医師・薬剤師調査）</li> <li>医師一人当たりの患者数も全道平均より多いため、精神科医療機関への早期のアクセスが難しくなっており、特に新規受診については、予約から受診まで時間を要する状況になっています。</li> </ul> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外来医療を担う医師の確保や、精神科医療機関における病診連携に加え、精神疾患が疑われる人を早期に専門医療につなげるため、内科等かかりつけ医との連携も求められます。</li> <li>精神科医療を必要とする人とその家族への支援のため、市町村、保健所等における相談機能の強化を図る必要があります。</li> </ul>	<p>取組の方向性（地域の方針）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>精神科医療懇談会や精神科救急体制連絡調整会議の開催などを通じ、地域の精神科医療の状況を共有し協議を継続するとともに、今後開業する医師に対し、釧路地域での診療を促す取組を協議するなどして外来医療機能の確保を図ります。</li> <li>保健所による相談事業の活用について周知し、早期に医療が必要な場合には適切に精神科医療機関につなげるための支援を行うとともに、関係機関の協力を得ながら、精神科と内科医等かかりつけ医の連携体制の構築を促進します。</li> </ul>

8 本年度の取組に関する評価（課題）及び今後の方向性

区 分	評 価 （ 課 題 ）	今後の方向性
将来的に不足する医療機能の確保	・ R2は釧路協立病院（38床）、R3は釧路労災病院（33床）、R4は市立釧路総合病院（14床）を回復期へ転換しているが、必要数には満たない状況。	・ 病床単位での把握方法を引き続き検討するとともに、回復期に係る現状の不足度合い（将来の見通し）、各医療機関が持つ回復期の規模感などについて、引き続き協議。
医療機関の再編統合等	・ 地域医療連携推進法人立ち上げの検討がみられるほか、医療機関間での役割分担がみられる。	・ 再編・ネットワーク化に向けた動きを把握する。 ・ 疾病や医療の必要度に応じた役割分担、救急医療体制などについて協議。
ICTを活用した地域医療情報連携ネットワークの構築	・ 「メディネットたんちょう」をはじめとする関係者で構成する各種ネットワークについては、継続して運用されている。	・ 「メディネットたんちょう」の有効性・課題について検証の上、継続に向けた財政支援について検討。 ・ 在宅医療と介護の情報共有化についても促進。
非稼働病床（病棟）への対応	・ 非稼働病床は毎年増減を繰り返す傾向にあるが、スタッフの不足・患者減少等により120床が非稼働となっている。	・ 各医療機関の動向を把握するとともに、道の対応方針を踏まえ、調整会議で共有・検討する。
在宅医療等の確保	・ 在宅療養支援診療所・病院は9ヶ所 ・ 「在宅医療・介護連携推進事業」に係る市町村連絡会議の開催2回 ・ 高齢者施設における看取りの実態調査に係る研修会開催 ・ 釧路市が作成した情報共有ツール「つながり手帳」について、鶴居村、白糠町、標茶町に拡大。 ・ 急性期医療機関と介護保険関係者による「退院調整のルール化」を作成しR1. 10から運用開始	・ 釧路市つながり手帳の普及や退院支援等広域連携の検討を通じ、市町村における「在宅医療・介護連携推進事業」を支援。 ・ 医師会・CCUと協働し、在宅医療勉強会、訪問診療同行など在宅医療を担う医師の拡大に向けた取組を検討。
地域における取組（高齢者の住まいの確保等）	・ 各市町村において、介護医療院・グループホーム・サ高住・高齢者向け住宅等の整備計画がある。	・ 道内における事例を周知し、介護施設等自宅以外の住まいの確保について検討。
地域住民への広報活動	・ 地域版のリーフレットの作成	・ リーフレットの活用方法や住民への広報活動について検討
公立病院経営強化プランの進捗	・ 現在策定中	・ 各病院の進捗状況を把握し共有する。
公的医療機関等2025プランの進捗	・ 各公的医療機関においてプラン提出済 ・ 釧路労災病院において、将来的に緩和ケア病棟の設置を検討。	・ 各病院の進捗状況を把握し共有する。
二次医療圏を越えた広域的な協議	・ 釧路・根室圏域の調整会議に双方の事務局が参加各1回（令和4年度は実施なし）	・ 疾病ごとの受療動向のほか、搬送体制なども踏まえ、双方の圏域における課題の掘り起こしと対応策を協議。
全医療機関参加型の調整会議の運営等	・ R1. 7月に地域説明会を開催。 ・ R2. 1月に全医療機関を参集し、意見交換会を開催。 ・ R3. 7月に地域説明会を開催。	・ 調整会議のほか、急性期のみ、急性期と回復期など医療機能の組み合わせで参集範囲を絞った意見交換会の開催や、在宅医療・介護医療院等テーマを決めた講演を組み込むなど、全医療機関が参加し議論を活性化するための方策を検討。
病床機能報告制度に係る取組	・ R1は未報告なし。R2～4は報告未了の医療機関に向けて報告依頼を行った。	・ 引き続き全医療機関が報告するよう求めるとともに、意向調査についても同様に回答を求める。
医療従事者等の確保に向けた取組	・ 医師偏在指標（人口10万人あたり） 釧路147.8 全道224.7 ・ 医師をはじめとする医療従事者の地域偏在が課題。 ・ 地域医療支援センターによる医師派遣：なし ・ 自治医科大学卒業医師の配置：1病院1名 ・ 地域枠医師の配置：2病院4名 ・ 釧路協立病院が新専門医制度「総合診療」基幹病院	・ 自治医科大学卒業医師の配置のほか、地域医療支援センターや緊急臨時的医師派遣事業に係る派遣要請の継続に加え、地域枠や新たな専門医制度を通じた医師を地域に呼び込む取組 ・ センター病院の機能強化や、医療機関相互の診療応援など、地域レベルでの確保対策の検討。
地域で不足する外来医療機能の確保に係る取組	・ 北海道外来医療計画の地域版として、初期救急医療、在宅医療及び精神科医療の確保について現状・課題として設定	・ 夜間急病センターの維持並びに在宅当番医制への参加促進を図る。 ・ 医師等を対象とする意見交換・勉強会や同行訪問を通じ、在宅医療を実施する医師の拡大を図る。 ・ 今後開業する医師に対し、釧路地域での診療を促す取組について協議を行う。

年度	令和4年度
区域名	釧路

構想区域内における医療機関の対応方針

No.	区分		医療機関名	所在市町村	紹介受診重点医療機関	2025年に持つべき医療機能ごとの病床数(許可病床ベース)																2025年を見据えた役割(R4意向調査)		
	病院	診療所				H28年7月1日時点(H28病床機能報告)					2025年(R4意向調査)					増減								
						高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期		その他	計
1	○		市立釧路総合病院	釧路市		535床	0床	0床	0床	0床	535床	358床	163床	14床	0床	0床	535床	▲177床	163床	14床	0床	0床	0床	①
2	○		総合病院釧路赤十字病院	釧路市		18床	359床	54床	0床	0床	431床	9床	362床	54床	0床	6床	431床	▲9床	3床	0床	0床	6床	0床	②
3	○		社会医療法人孝仁会 釧路孝仁会記念病院	釧路市		10床	222床	0床	0床	0床	232床	24床	211床	0床	0床	0床	235床	14床	▲11床	0床	0床	0床	3床	①
4	○		独立行政法人労働者健康安全機構釧路労災病院	釧路市		0床	450床	0床	0床	50床	500床	8床	300床	83床	0床	0床	391床	8床	▲150床	83床	0床	▲50床	▲109床	①
5	○		医療法人東北北海道病院	釧路市		0床	139床	44床	0床	0床	183床	0床	125床	44床	0床	0床	169床	0床	▲14床	0床	0床	0床	▲14床	②
6	○		道東勤医協 釧路協立病院	釧路市		0床	89床	0床	45床	46床	180床	0床	0床	108床	0床	27床	135床	0床	▲89床	108床	▲45床	▲19床	▲45床	②
7	○		医療法人社団三慈会 釧路三慈会病院	釧路市		6床	80床	40床	0床	0床	126床	6床	79床	41床	0床	0床	126床	0床	▲1床	1床	0床	0床	0床	②
8	○		標茶町立病院	標茶町		0床	60床	0床	0床	0床	60床	0床	50床	0床	0床	0床	50床	0床	▲10床	0床	0床	0床	▲10床	②
9	○		JA北海道厚生連 摩周厚生病院	弟子屈町		0床	55床	0床	44床	0床	99床	0床	55床	0床	24床	19床	98床	0床	0床	0床	▲20床	19床	▲1床	②
10	○		町立厚岸病院	厚岸町		0床	55床	0床	0床	0床	55床	0床	55床	0床	0床	0床	55床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	②
11	○		社会医療法人孝仁会 星が浦病院	釧路市		0床	42床	96床	0床	0床	138床	0床	42床	93床	0床	0床	135床	0床	0床	▲3床	0床	0床	▲3床	③
12	○		医療法人豊慈会 釧路北病院	釧路市		0床	0床	0床	244床	0床	244床	0床	0床	0床	244床	0床	244床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	④
13	○		医療法人扶恵会釧路中央病院	釧路市		0床	0床	0床	147床	0床	147床	0床	0床	0床	147床	0床	147床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	④
14	○		医療法人社団 敬愛会 白樺台病院	釧路市		0床	0床	0床	108床	0床	108床	0床	0床	0床	108床	0床	108床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	④
15	○		医療法人共生会 川湯の森病院	弟子屈町		0床	0床	0床	100床	0床	100床	0床	0床	0床	100床	0床	100床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	⑤
16	○		釧路脳神経外科病院	釧路市		0床	0床	0床	94床	0床	94床	0床	0床	0床	94床	0床	94床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	④
17	○		医療法人社団美生会釧路第一病院	釧路市		0床	0床	0床	82床	0床	82床	0床	0床	0床	82床	0床	82床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	④
18	○		医療法人太平洋記念 みなみ病院	釧路市		0床	0床	0床	80床	0床	80床	0床	0床	0床	80床	0床	80床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	④
19	○		医療法人社団藤花会 釧路谷藤病院	釧路市		0床	0床	0床	42床	0床	42床	0床	0床	0床	42床	0床	42床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	④
20	○		つるい養生邑病院	鶴居村		0床	0床	0床	26床	0床	26床	0床	0床	0床	26床	0床	26床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	④
21	○		医療法人社団明眸会 カケハン眼科内科	釧路市		0床	0床	0床	0床	19床	19床	0床	19床	0床	0床	0床	19床	0床	19床	0床	0床	▲19床	0床	②
22	○		医療法人社団足立産科婦人科医院	釧路市		0床	0床	0床	0床	19床	19床	0床	0床	0床	0床	4床	4床	0床	0床	0床	0床	▲15床	▲15床	⑤
23	○		医療法人社団新橋肛門科クリニック	釧路市		0床	19床	0床	0床	0床	19床	0床	19床	0床	0床	0床	19床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	②
24	○		市立釧路国民健康保険音別診療所	釧路市		0床	0床	19床	0床	0床	19床	0床	0床	0床	19床	0床	19床	0床	0床	▲19床	19床	0床	0床	⑤
25	○		くしろレディースクリニック	釧路市		0床	1床	0床	0床	0床	1床	0床	1床	0床	0床	0床	1床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	⑤
26	○		市立釧路国民健康保険阿寒診療所	釧路市		0床	0床	0床	19床	0床	19床	0床	0床	0床	19床	0床	19床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	⑤
27	○		浜中町立浜中診療所	浜中町		0床	19床	0床	0床	0床	19床	0床	0床	0床	19床	0床	19床	0床	▲19床	0床	19床	0床	0床	⑤
28	○		中村眼科医院	釧路市		0床	19床	0床	0床	0床	19床	0床	19床	0床	0床	0床	19床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	⑤
29	○		医療法人社団祐仁会 足立泌尿器科クリニック	釧路市		0床	19床	0床	0床	0床	19床	0床	19床	0床	0床	0床	19床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	②
	○		まき内科胃腸科医院	釧路市		0床	0床	0床	0床	19床	19床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	▲19床	▲19床	(廃止)
30	○		医療法人社団林田クリニック	釧路市		0床	0床	0床	0床	10床	10床	0床	0床	0床	0床	10床	10床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	⑤
31	○		医療法人三慈会 西池彰記念クリニック	釧路市		0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	19床	0床	0床	19床	0床	0床	19床	0床	0床	19床	③
計						569床	1,628床	253床	1,031床	163床	3,644床	405床	1,519床	456床	1,004床	66床	3,450床	▲164床	▲109床	203床	▲27床	▲97床	▲194床	

※「2025年を見据えた役割」について、番号が示す内容は以下のとおり。(当該医療機関の主たる役割に最も近い記述を1つ選択)

- ①: 救急患者の受入れや手術など、高度・専門医療を中心とした急性期医療を担う
- ②: 近隣の高度・専門医療を提供する医療機関と連携しつつ、救急患者の初期対応や比較的症状が軽い患者に対する入院医療等の急性期医療を担う
- ③: 近隣の高度・専門医療を提供する医療機関と連携しつつ、急性期経過後のリハビリテーションを担う
- ④: 長期にわたり療養が必要な患者に対する入院医療を担う
- ⑤: かかりつけ医としての役割や在宅医療における中心的な役割を担う